

呉医療センターで診療を受けられる皆様へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

① 該当者	2024年4月1日～2026年3月31日の期間に当院と県立二葉の里病院にて膠原病(関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、全身性強皮症、多発性筋炎/皮膚筋炎、混合性結合組織病、ベーチェット病、シェーグレン症候群、ANCA関連血管炎、結節性多発動脈炎、巨細胞性動脈炎、高安動脈炎、IgG4関連疾患、脊椎関節炎など)と診断され、治療を受けた患者さん
② 研究課題名	日常診療で経験した膠原病患者に関する後ろ向き研究
③ 実施予定期間	2025年 8 月 14 日～ 2026年 3 月 31 日
④ 研究組織	当院の研究責任者 国立病院機構 呉医療センター リウマチ・膠原病科 科長 徳永 忠浩 研究機関の長 国立病院機構 呉医療センター 繁田 正信 研究代表者 国立病院機構 呉医療センター リウマチ・膠原病科 科長 徳永 忠浩 共同研究機関 県立二葉の里病院 リウマチ膠原病内科・主任部長 渡辺 裕文
⑤ 使用する試料・情報	収集する診療情報は下記の通りです。 患者背景、合併症の頻度、血液検査、画像検査、生理検査、治療内容 ※上記診療情報は、研究終了後5年間もしくは、研究結果の公表後3年間のいずれか長い期間まで厳重に保管され、その後適切な方法で破棄されます。 診療情報は当院の研究担当者が情報を取り扱い適切に保管します。
⑥ 目的	この研究は、膠原病患者さんの臨床経過の検討を行うことを目的としています。膠原病とは関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、全身性強皮症、多発性筋炎/皮膚筋炎、混合性結合組織病、ベーチェット病、シェーグレン症候群、ANCA関連血管炎、結節性多発動脈炎、巨細胞性動脈炎、高安動脈炎、IgG4関連疾患、脊椎関節炎などです。これらは全般的に稀な疾患であり、診断面でも治療面でも現状では十分なエビデンスが構築できているとは言いがたいです。今後の診断能力の向上や予後改善に少しでも役立つよう、広島県内外から膠原病疾患が集まる本施設で研究を行うことを計画しております。膠原病の治療はここ数年で進歩し、新規の免疫抑制剤や生物学的製剤が使用可能となっており、それらの有効性・安全性の臨床データも交えて、診断や治療についての後ろ向き研究

呉医療センターで診療を受けられる皆様へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

	を行います。		
⑦ 方法	2024年4月1日～2026年3月31日の期間に当院と県立二葉の里病院にて膠原病と診断され、治療を受けた患者さんの、⑤に記載の診療情報をカルテより抽出し、研究者が、集計、統計処理を行います。また、通常診療で採取され残った血液検体(残余検体)を用いて、通常診療で評価が不十分であった疾患活動性との関与が予測されるマーカー(各種サイトカイン、ケモカインなど)の測定を行い評価を行います。 共同研究機関の臨床的情報は診療録から Excel ファイルに転帰し、識別番号を付し対象者を識別できないように個人情報を加工します。加工されたファイルは当院リウマチ・膠原病科に送付されます。対応表は各施設の外部に接続のないパソコンで管理します。		
⑧ 倫理審査	倫理審査委員会承認日	2025	年 8 月 14 日
	院長承認日	2025	年 8 月 14 日
⑨ 公表	個人情報保護は保護したうえで、研究成果を学会や医学論文などに発表することがあります。		
⑩ プライバシー	本研究では、名前・住所・電話番号等の個人情報は一切使用しません。		
⑪ 知的財産権	将来、この研究の成果が得られ、知的財産権が生じる可能性もありますが、その権利は研究者もしくは所属する研究機関に帰属します。		
⑫ 利益相反	本研究では、利害の衝突は一切生じません。		
⑬ 問い合わせ	連絡先	徳永 忠浩	電話 0823-22-3111(代表)
	国立病院機構呉医療センター リウマチ・膠原病 科		

呉医療センター院長